

矢板市の南。片岡地区には、  
主要な交通網が集積している。  
東北自動車道矢板インターチェンジ。  
国道4号。

JR宇都宮線。  
東北新幹線。  
現在、  
その利便性がさらに向上している。

国道4号の4車線化や県道矢板喜  
連川線の開通、また、平成25年度か  
らはJR片岡駅を橋上化するた  
めの大規模な工事が始まる。  
つつじが丘ニュータウンを

はじめとする閑静な住宅街は、  
着々と人口を伸ばし、  
南産業団地には多くの企業が進出  
している。

この地区の持つ地場の力。  
その一部を紹介します。



# 01 地場力

～その土地が持つ力～



矢板南産業団地区画図(H25.1)

市では、JR  
片岡駅の橋上  
化や西口整備を  
中心とした「片  
岡地区市街地整  
備事業」を平成  
25年度から本格  
的に着手してい  
きます。また、  
昨年12月にこの  
事業の詳細な設  
計が完了したこ  
とから、西口広場と結節する  
アクセス道路の一部工事を平  
成24年度中に着工します。そ  
して、平成25年度には本格的  
整備を始め、平成27年度の完  
成を目指しています。

は高原山の山並みをイメージ  
した、ガラス張りで明るい構  
造となっています。これによ  
り、駅舎から雄大な高原山を  
眺めることができるほか、駅  
舎周辺のつつじの花も楽しむ  
ことができます。加え  
てエレベ  
ーターを設け、  
利用する  
方々の利便  
性に配慮し  
ています。



交通の利便性の高い片岡地  
区には、企業の進出も盛ん  
に行われています。矢板南産  
業団地(分譲面積47.4ha)に  
は、平成11年に最初の企業  
が進出してから、多くの企業  
が進出しています。現在、8社  
が操業しており、残り五区画  
11.6haを残すのみとなっ  
ています。また、その中には、  
年間の降雪量がほとんどなく  
安定した気候であることから、  
栃木県が進める「とちぎサン  
シャインプロジェクト」に基  
づくメガソーラーの建設予定  
地にも選ばれています。

市の計画では、片岡駅の東  
西口を往来できる自由通路を  
設置し、駅を橋上駅舎化する  
ほか、西口広場、駅と県道矢  
板那須線とを結ぶアクセス道  
路、58台収容の駐車場などを  
整備する予定です。これによ  
り通勤、通学など駅利用者の  
利便性を向上させるとともに、  
片岡地区のにぎわいを創出し  
ていきます。

また、片岡駅はつつじの駅  
として知られており、新駅舎



片岡駅西口完成イメージ図  
総工費:約17億円  
主な施設  
東西自由通路、橋上駅舎、駅西  
広場、アクセス道路、駐車場、  
駐輪場、トイレ2箇所、調整池



昭和30年ごろの片岡駅東口



現在の片岡駅東口

